

戸田市 施策評価シート

作成日	令和元年 5月29日	作成者名	星野 正義	評価者名	山上 睦只
-----	------------	------	-------	------	-------

1. 施策の位置づけ <PLAN>

基本目標	01 子どもの成長と生涯にわたる学びのまち	中心となる課	教育委員会事務局・生涯学習課
分野	04 生涯学習	関係課	
施策	12 図書館・郷土博物館サービスの充実		
施策の目的	図書館や郷土博物館サービスの利用により、市民が必要な資料や情報を入手し、自らの暮らしや仕事に役立てることで、心豊かな生活を送ることができるようにします。また、図書館や郷土博物館と学校との連携を深め、児童・生徒が実感を持って学習できるようにしていきます。		

2. 施策の主な取り組み <DO>

取り組み①	展示及び教育普及事業
取り組み②	図書館管理運営費
取り組み③	
取り組み④	
取り組み⑤	
その他の取り組み	
その他の取り組み	

3. 施策の指標における成果（主な指標）<CHECK>

指標名	指標の説明 (算定式)	単位	目標値	達成値					
				H27	H28	H29	H30	R1	R2
図書資料などの貸出点数	年間の貸出点数 (当初値726,000点の0.78%増)	点	731,700	726,000	751,336	719,679	522,643		
博物館支援ボランティアの養成	登録者数 (当初値から毎年1名増)	人	50	45	32	32	0		
その他施策の取組事項に係る成果									

4. 施策の展開 <ACTION>

課題	図書館本館は、令和2年3月まで工事休館であるが、令和2年4月から指定管理制度に移行する。また子ども達の読書習慣の形成や読書への関心を高める取組を充実するため、第3次子どもの読書活動推進計画を策定する。 郷土博物館は令和2年4月の再開に向け、常設展示室のリニューアルを行う。また博物館支援ボランティアの新規で登録については、休館中は、教育普及活動、特に博学連携への参加を主な活動内容としているため、ボランティアの登録を積極的に呼びかけていない。	対応策	図書館では、指定管理者と公立図書館としての使命を再確認しつつ、仕様書や事業者提案内容について密な調整を重ね、滞りなく移行準備を行う。子どもの読書活動推進計画は、小中学生や関係施設等にアンケートを実施し、実効性ある計画を策定の上、読書習慣の形成に努めていく。 郷土博物館の常設展示室リニューアルでは、入り口部分を一新し、展示室全体のリニューアル感を創出し、新たな資料を公開する展示計画を進めていく。また郷土博物館活用検討委員会と連携し、学校支援を中心にサービス提供に努めていく。
----	--	-----	---

○結果と今後の方向性（シート作成次長記入）

進捗状況 (A 躍進中、B 予定通り、C 遅れ気味)	説明 (総評)	図書館は、大規模設備改修工事に伴い平成30年7月から本館が休館しているため、新増配本所を開設したものの、全体的に貸出件数は減少した。 博物館支援ボランティアについては、登録者の物故や転出などで計画どおりに増員できていない。
C		
今後の方向性（人員/予算） (↑増加、→維持、↓削減)	説明 (人員/予算)	大規模設備改修工事は令和2年1月に終了し4月から再開する。図書館本館等は指定管理者に移行するため、人員は減少となる。郷土博物館は市直営で展示等を再開するため、学芸員を充実させていく。
→		

(評価者コメント)

図書館本館は、工事が終了し、令和2年4月の再開と同時に指定管理者制度導入となることから、市民に安全で快適な読書空間を提供できるよう、今年度は事業者との密な調整を行っていく。また、郷土博物館は24年振りのリニューアルとなることから、来館者の増加を図るべく、魅力ある新規展示と、リニューアル感の溢れる空間を創出していく。
--

戸田市 施策評価シート

作成日	令和元年 5月29日	作成者名	星野 正義	評価者名	山上 睦只
-----	------------	------	-------	------	-------

5. 事務事業の検討 【一般会計】

(単位：千円)

大 事 業	中 事 業	事務事業名		事務事業評価の結果							★事務事業の方向性			R 2 予 算 額	事業費 うち 一般財源			
		事業コード		R 2 計 画 額	事業 の 方 向 性	実 施 計 画 候 補	評価結果				事業 の 方 向 性	実 施 計 画 候 補	施 策 内 優 先 度			コメント		
		事業内容					H30決算額	R1予算額	施策への貢献度	経費水準							事業手法	受益・負担の公平性
							事業費	うち一般財源										
	02	施設運営・維持管理事業		23,629											0			
		01	10 04 08 01 02	27,978											0			
		施設・設備の修繕や警備、清掃等を行うことで、安全で		30,000	2		A	B	B	B	2		A					
		彩湖自然学習センター博学連携事業		29,930														
		博学連携事業の推進のため		8,188														
	03	彩湖自然学習センター活用検		494											0			
		博学連携事業の推進のため		603														
		01	10 04 08 01 03	600	1		A	B	B	B	1		B		0			
		彩湖自然学習センター活用検		600														
				4,435														
計 (千円)																		
				事業費			341,298				948,804			408,365	0			
				うち一般財源			272,106				320,392			408,077	0			

事業の方向性： 1 現状で継続 2 拡大して継続 3 縮小して継続 4 他事業と統合 5 休止 6 その他見直し
 7 令和2年度で終了 8 令和元年度で終了 9 平成30年度で終了